資料No.5

平成25年8月9日評価委員会

公立大学法人岩手県立大学に係る各事業年度業務実績評価実施要領

岩手県地方独立行政法人評価委員会

(趣旨)

第1 この要領は、地方独立行政法人法第28条第1項の規定に基づき、岩手県地方独立 行政法人評価委員会(以下「委員会」という。)が行う公立大学法人岩手県立大学(以下 「法人」という。)の各事業年度の業務実績評価(以下「評価」という。)の実施に関し、 必要な事項を定めるものとする。

(評価の対象)

第2 評価の対象は、法人の各事業年度の業務実績とする。

(評価の基本方針)

- 第3 評価は、次の基本方針により行うものとする。
- (1) 評価は、中期目標の達成に向けた法人の事業の進捗状況を確認する観点から行うものとする。
- (2) 委員会は、評価を通じて法人の大学改革の推進を支援するものとする。
- (3) 評価に当たっては、法人の特色ある取組みや様々な工夫を積極的に評価するものとする。
- (4) 評価は、大学の教育研究の特性や大学運営の自主性・自律性に配慮して行うものとする。
- (5) 委員会は、評価を通じて、法人の中期目標の達成に向けた取組状況等を県民に分かり やすく示すよう努めるものとする。

(評価の留意事項)

第4 評価は、別紙の事項に留意して行うものとする。

(評価の方法)

- 第5 評価は、次の「項目別評価」及び「全体評価」により行うものとする。
 - (1) 項目別評価

項目別評価は、次の方法により行うものとする。

ア 法人の自己点検・評価

法人は、年度計画の業務実績を自己点検し、その進捗状況を各項目ごとに評価する。

イ 委員会の評価

委員会は、法人の自己点検・評価を踏まえつつ、業務の実績について法人からのヒ アリングなどを通じて検証し、達成度について評価するとともに、評価の理由や改善 点等を特記事項欄に記載して行うものとする。

ウ 評価方法

評価は、次の5段階で評価するものとする。

AA「特筆すべき進行状況にある」 (評価委員会が特に認める場合)

A 「計画どおり進んでいる」 (計画を達成した場合)

B 「おおむね計画どおり進んでいる」 (8割以上~10割未満)

C 「やや遅れている」 (6割以上~8割未満)

D 「重大な改善事項がある」 (6割未満)

(2) 全体評価

全体評価は、(1) の項目別評価の結果を踏まえ、法人の中期計画の全体的な進捗状況及び次の事項について総合的に評価するものとする。

- ア 理事長及び学長のリーダーシップによる機動的・戦略的な大学運営を目指した取 組みについて
- イ 県民や社会に対する説明責任を重視した社会に開かれた大学運営を目指した取 組みについて
- ウ 大学の教育研究、地域貢献等における特色ある取組み、創意工夫について
- エ 大学改革を推進させる取組みについて
- オ 業務運営等の改善及び効率化、財務状況の改善に関する取組みについて
- カ 自己点検・評価及び情報公開に関する取組みについて
- キ その他必要と認められる事項について

(報告書の提出)

第6 各事業年度における業務の実績報告は、業務実績報告書(別紙様式)によるものと する。

(意見申し立て機会の付与)

第7 委員会は、評価の案を作成したときは、法人に対し当該評価案を送付し、評価案に 対する意見の申立ての機会を付与するものとする。

(その他)

第8 この要領に定めるもののほか、評価の実施に関して必要な事項は、委員会が別に定める。

附則

この要領は、平成18年5月8日から施行する。

別紙

- 1 評価にかかる委員会の留意点等
- (1) 理事長・学長のリーダーシップの下、機動的・戦略的な大学運営を目指した取組みや県民や社会に対する説明責任を重視した社会に開かれた大学運営を目指した取組み等について積極的に評価する。
- (2) 評価を通じて、中期目標期間中の法人の業務運営、予算、人事等の改善・充実が適切に進められるよう留意する。
- (3) 評価は、単に中期計画の進行状況をチェックするだけでなく、特色ある取組みや法人運営を円滑に進めるための様々な工夫を積極的に評価するとともに、中期目標達成に向けての改善点が明らかになるよう、業務実績報告書に特記事項欄を設け、法人の大学運営の状況を自由に記載してもらい、評価に当たってはそれらを十分に考慮する。
- (4) 教育・研究などの数値に表れない部分についても、大学の基本的使命に十分配慮して評価を行う。
- (5) 計画の達成のみではなく、その分析結果を考慮して総合的に判断するものとする。
- 2 評価に係る法人の留意点等
- (1) 評価の際の客観的資料となるよう、計画に関する指標を報告書に添付するものとする。
- (2) 県民や社会に対してわかりやすく業績を説明するという観点に十分留意し、業務実績報告書を作成するものとする。

様式(第6関係)

各事業年度に係る業務の実績に関する報告書

- 1 大学の概要
- 2 全体的な状況とその自己評価
- 3 項目別の状況

項目別の	状 况			
項 目				
中期目標				
			「砂缸禾昌△	
中期計画	年度計画	計画の進行状況等	自己評価 評価委員会 評価	特記事項
	<u> </u>			

○○○に関する特記事項				